



麦笛

26号

2016年12月10日

発行

東京尊商會広報委員会

発行人

村井 健 (51期)

〒270-0021

TEL・F

E-mail

同窓の絆

初参加者の紹介もありました。お楽しみ抽選会で盛り上がり、お土産として全員に「かま栄」の蒲鉾が配られました。最後は恒例の応援歌、今年『住吉さん』まで歌いきって3時間に渡る総会が終了致しました。

末筆になりましたが、年会

費を収めていただいている皆様には深く御礼申し上げます。長年に渡り東京尊商會を支えていただき、65回目を盛会に迎える事が出来ました。これからもよろしくお願ひしますと共に、ご参加もお待ちしております。

第65回 東京尊商會總會 同窓の絆開催

東京尊商會會長



41期

中村みのり

師走の候、故郷からは早々に雪の便りが届きましたが、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

去る10月29日(土) 好天の下、節目になります第65回總會「同窓の絆」が97名のご出席を得て、お茶の水「東京ガーデンパレス」において開催されました。

ご来賓として、小樽本部から會長 大森富美男(51期)様、監事 笈田裕俊(37期)様、札幌尊商會會長 土田敏英(47期)様、九州尊商會會長 鍋島虔一(47期)様の臨席をいただきました。

總會は小野政春(49期)副會長の開会の辞で始まり、全員で校歌斉唱、物故會員の皆様に黙禱を捧げました。議事は27年度の活動報告、会計報告、会計監査報告と進行し、會長改選では2期目もお引き受けすることになりましたので、役員はじめ會員の皆様の支援とご協力をお願い申し上げます。

議事は滞りなく終了し、ご来賓からご挨拶を頂きました。大森會長は閉校後の尊商會存続がかなり困難であること、平成30年から新入生を受け入れる新設校は名前がまだ決まっていなかったことなどのお話でしたが、来期の東京尊商會總會には、49、50、51期の応援団長(49、51期は東京尊商會會員)が勢ぞろいして正

調応援歌の舞台を作りたいとの、楽しい提案もされていました。札幌尊商會土田會長には、当日のお願いにもかかわらず軽妙なお話に会場が笑いに包まれていました。仁藤学校長は公務(修学旅行の引率)のためご欠席でしたが「ビデオメッセージ」でご挨拶を頂きました。

懇親會は、始めてご参加の九州尊商會鍋島會長のご挨拶、乾杯で始まり、各テーブルが歓談に入りました。

65周年記念として、アーカイブ「懐かしの東京尊商會」、在校生の思いが伝わるビデオメッセージ「母校は永遠に不滅です」が映し出されました。

今年も60期以降の若手が初参加も含め11名の参加があり賑やかに若やぎ、遠路からと



谷澤さんを悼んで

相談役 41期 島久雄

65周年東京尊商会「同窓の絆」の会開催前日(10月28日)の夕方、幹事長の谷澤忠之さん(46期卒)が亡くなりました。奥様の話では、亡くなる直前まで総会の心配をしており「幹事の井上君に……」と、うわ言を言っていたそうです。

東京尊商会創設については、憶測の範囲ですが、戦後海外から復員してきた銀行出



ありし日の谷澤さん(左から4人目) 46期同期の方と

吉田社長は、東京尊商会設立時から事務局として係わり、谷澤さんも入社から社長のお手伝いをした縁で、今日までの長きに会の運営維持に心身を注いできました。

今日までの会の長い歴史の中で浮き沈みを見て、陰で大きな役割を果たし、中でも歴代の会長人事では、先輩諸氏への根回し役として、7代目古山会長(36期卒)の後を引き受ける人が無く総会近づく中で、谷澤さんの判断で当時幹事長であった私が、谷澤さんの熱意で引き受けるものです。

母校が女子高化して、卒業生が関東地区に出てこなくなり、当番期の総会運営が難しくなつて、各期代表の役員で運営することになつてからも、谷澤さんは各期の役員への指示を細かい配慮と粘り強さで調整してくれました。

会の運営においては、年1回の総会だけで、会費を納入していたでいてる皆さんに、何らかの形で現況の報告が出来ないかということ、機関誌「麦笛」を発行、初代編集長に、市川さん(42期卒)が就任、継承されております。また、井上さん(69期卒)の協力でホームページを立ち上げて、会員皆さんとコミュニケーションの輪を広げています。

会の継続のため「東京尊商会 総会」と堅苦しい会場でなく気楽に参加できるような会にしよう、と、還暦の60周年を契機に、この年は東日本大震災の年で「絆」の大切さを取り上げられましたことから『同窓の絆』の会として5年目になりました。

3年後には、母校が無くなるとのこと、会の存続も考えなければなりません。

卒業生がおられる間は、会員の「オアシス」の場として先輩・後輩が想い出を語り、明日の英気をもらい「同窓の絆」の会として、谷澤さんの遺志を繋ぎたいと思います。

初めて東京尊商会「同窓の絆」に参加して

54期 風間義則

始めはテーブルの両隣とは、話題も無かったのですが、アルコールが若干入ると卒業年度など話が弾み、田舎訛りではないが、小樽を感じられるにはおられませんでした。

また、期の若い方が編集した小樽商業高校の画像には、大変懐かし、数十年がタイムスリップしたようでした。編集には大変時間を要したものと、関係者の方に感謝申し上げます。

卒業して、北海道の金融機関に就職、社会の荒波?を何とか潜り抜けたかと思うと、新たな難題が……。

現在、もと新宿厚生年金会館近くで、小さいながらも飲食店「風間(ひゅうま)」を経営しています。総会で先輩諸氏との名刺交換で、「勤務先で近いから、そのうちに寄らせてもらいますよ!」と言っていた、2週間後に先輩が来店してくれました。

飲むよりは、小樽の昔話ばかりでしたが、総会出席のおかげで、懐かしい心地よい時間を過ごさせていただきました。

来年もぜひ出席したいと思っています。

総会幹事役員の皆様に感謝申し上げます。



大森小樽本部・土田札幌・鍋島九州・中村東京・各尊商会会長



JR 御茶ノ水駅前案内する坂崎さん (53期)



大先輩・戸部健三さん(34期)から小林誠さん(75期)へ記念品



「懐かしの東京尊商会」の映像を見る皆さん



43期の皆さん

東京尊商会 同窓の絆 PHOTO 2016 10・29



60期の皆さん



札幌から参加の51期田原・中内・大高さん



相談役の島久雄さん(41期)と同・古山茂さん(36期)



43期の女性の皆さん



42期の皆さん



戸部先輩と55期・60期の皆さん



初参加の60期代の皆さん



68期・後藤さん・成沢さん / 69期・井上さん等の皆さん

平成27年度
東京尊商会活動報告

4月18日 第1回役員会（横川電機会議室）
6月6日 第2回役員会（横川電機会議室）
6月27日 尊商会本部総会
8月29日 第3回役員会（横川電機会議室・秋葉原）、
「同窓の絆」案内状発送作業『麦笛』第23号発行
10月3日 第4回役員会（横川電機会議室）
10月17日 東京尊商会「同窓の絆」（東京ガーデンパレス）
12月12日 第5回役員会（横川電機会議室）、
「同窓の絆」報告書発送作業『麦笛』第24号発行

平成27年度 会計報告

平成27年4月1日～平成28年3月31日

単位:円

収入の部			支出の部		
項目	内 訳	金 額	項目	内 訳	金 額
繰越金	前期より	1,208,050	支出計		1,396,378
	普通預金	69,382			
	郵便当座預金	1,127,100	総会費	会場費	755,224
				記念費等	65,316
	手持ち現金	11,568	印刷発送費	総会案内等	238,975
収入軽		1,490,039	会報誌	封筒21・22号	114,864
総会会費	¥7000×87	609,000	会議費	役員会、会合費	120,347
	総会寸志	40,000	事務費	事務用品費	36,868
				ホームページ管理費	21,330
年会費	振込分332名	341,000	手数料	会費振込手数料	35,454
	会場含む		慶弔費	祝金・見舞金	10,000
その他収入	寄付金	500,000	繰越金	次期へ	1,299,711
	預金利息	39		普通預金	110,207
				郵便振替	1,182,646
				手持ち現金	6,858
合 計		2,698,089	合 計		2,698,089

平成28年4月16日 上記の通り報告いたします 会計 浜谷哲男
上記のとおり相違ありません。 監事 水島 睦夫 監事 土橋 弘幸

事務局へのご連絡は 浜谷哲男 TEL (FAX) [REDACTED]

会員の住所変更など、気軽に相談下さい。 ご意見大歓迎！



左から51期・寮生の石塚さん、小林さん、森さん。中湧別で

編集後記

仕事の都合で11月6日札幌へ。数日前、例年になく北海道に早い降雪で道路のわきに雪だまりがあり別世界でした。

翌日仕事を終え、母校・緑光寮で一緒だった小林伸二さん（埼玉県在住）と一緒にレンタカーで一路オホーツク海へ、高速道路は旭川までは道路際に雪があり、過ぎると家も少なく山には雪。水墨画のような風景で、銀世界。久しぶりの思い出深い光景です。4時半ごろから暗くなり、遠軽経由中湧別6時到着。

緑光寮で3年間一緒、東京でも一緒に過ごし、就職でそれぞれの道に進み、会う機会は少なく、その後「父親の事業を継ぐ、親を看る等等」の理由でユータウンし、何十年と会う機会なく、小林さんとは同期の結婚式以来数十年ぶりの対面。当日泊まる

旅館近くのすし屋で待ち合わせ、地元オホーツク海の牡蠣、カニ、寿司等海の幸いっぱい歓迎を受け、4人で乾杯。高校時代の思い出話、寮生の1年生の級長とその特権で「クラスの女子と映画？、喫茶甘堂へ」行ったとか、初めて聞く出来事に驚き、大笑い。昔のクラスの名前を思い出すのに時間のかかること。当方はクラス会など幹事の役割で写真を観たりしているせいか、先輩の名前は結構憶えており、礼文島へ行った時の話、バイクでケガしたことなど記憶の薄くなること。言い分ではつきりさせるため、その場で利尻島出身の小泉さん（木古内在住）へ電話して、確認するなど、寮生と話すときその時代にタイムスリップ。

寮の下、朝日湯近くの食堂ラーメン、拓銀緑町支店近くの「おでん はじめ」、ラーメンの「食道楽」など食べる話。当時一番の楽しみだったかもしれない。もっと勉強しておけば、簿記だけでも1級だけに特化していれば、英語だけでもっと勉強しておけばと、「たられば」で考えると何かしら、楽しくなる時間でした。

村井健 51期